予備審査請求は管轄国際予備審査機関へ直接行わなければならない。 2以上の管轄機関がある場合には、出願人の選択による。

. IPEA/ JP

特許協力条約に基づく国際出願 国際予備審査請求書

第Ⅱ章

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求する。

	国際予備審查機関記入欄	101					
	1	30.8. 05					
		\$ 45 Cm					
国際于備審査機関の確認	請求書の受理の日						
第 I 欄 国際出願の表示		出願人又は代理人の書類記号 PCT01-05005					
国際出願番号	国際出願日 (日. 月. 年)	優先日 (最先のもの) (日. 月. 年)					
PCT/JP2005/005638	22.03.2005	23.03.2004					
発明の名称							
電子ビーム描画装置							
		·					
第 工 欄 出 願 人							
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載;法)	() () () () () () () () () () () () () (X/司 電話番号:					
名も記載)	(はムハレ元主な名称を記載:の(名は郵便番号及)	03-3494-1111					
パイオニア株式会社	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	ファクシミリ番号:					
PIONEER CORPORATION		03-3495-4432					
〒153-8654 日本国東京都目黒	反日里1丁日4来1 旦	加入電信番号:					
4-1, Meguro 1-chome, Meguro							
- 17 Megaro 1-chome, Megaro	-ки, токуо 153-6654 Japan	出願人登録番号:					
日本国 JAPAN	住所 (国名): 日本	国 JAPAN					
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載; 法)	人は公式の完全な名称を記載・あて名け郵便来日及	(大団女 し わぬ)					
小島 良明 KOJIMA, Yoshia		ひ込石 もに収り					
〒350-2288 日本国埼玉県鶴		· ° /					
所内	グ島中島工元の「日「街「号	パイオニア株式会社 総合研究					
	lovolonment Laboratorias Disc						
c/o Corporate Research and Development Laboratories, Pioneer Corporation, 6-1-1, Fujimi, Tsurugashima-shi, Saitama 350-2288 Japan							
rsurugasiiiila-siii, Sallaiila 33	0-2288 Japan						
^{国籍(国名):} 日本国 JAPAN	^{住所(国名):} 日本	国 JAPAN					
氏名(名称)及びあて名: (姓、名の順に記載;法)							
the state of the s	(は五八)の元主な石がを記載。の(名は郵便番号及(/国名·尼敦/					
		İ					
国籍 <i>(国名)</i> :	住所 (国名):						
	(四名):						
	<u> </u>						
その他の出願人が続葉に記載されている。							

• • •	•				四峽山級母子				
			2		PCT/JP2005/005638				
	第皿欄	代理人又は共通の代	表者、通知のあて名	5					
	下記に記載された者は、								
	弁理士 〒104-0 東劇ビル Fujimura 1-1, Tsu	びあて名: (姓. 名の原に配敵: 法人は公 名も配敵) 藤村元彦 FUJIMURA, I 045 日本国東京都中央区 、藤村国際特許事務所 a & Associates, Togeki Blo kiji 4-Chome, Chuo-ku, To	Motohiko ☑築地4丁目1番1号 da	03- ファクミ 03- 加入電信	3545-5555 /ミリ番号 : 3545-2898				
		通知のためのあて名: 代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。							
	第IV欄	一 一							
野大在	世間 明報 2. 開報 3. 出版 4. 出版 *記入がない場合(2)国際子偏審査技	次のものを基礎として国際子備審査を開 類時の国際出願を基礎とすること。 田書に関して 出願時のものを基礎 特許協力条約第3 次の範囲に関して 出願時のものを基礎 特許協力条約第19 一 特許協力条約第3 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	遊とすること。 4条の規定に基づいてなされた補正を基 進とすること。 条の規定に基づいてなされた補正を基 4条の規定に基づいてなされた補正を基 進とすること。 4条の規定に基づいてなされた補正を基 請求の範囲について行った補正を無視し、 (d) に基づき適用される期間の満丁は a) に基づき適用される期間の満丁は に属する。 正 (原本又は写し)を受領していないとき 前に補正 (原本又は写し)を受領したとき	した説明書も含む 逆とすること。 さいつ、取り消された まで延期すること。 のも早く開始する	ものとみなして開始することを希望する。 を希望する。 ことを明示的に希望する。				
	☑際出願の提出時の食語である。								
		のために提出した翻訳文の言語である。							
		の公開の 骨語である。 審査の目的のために提出した翻訳文の 骨 語	である。						
		国の選択							
	この様式を用い	てされた国際予備審査の請求は、指定され	ι、かつPCT第Ⅱ章に拘束される全で	の締約国を選択す	る国際予備審査の請求となる。				

•			国際出願番号				
	3		PCT/JP200	05/005638			
第VI欄 照合欄							
この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第IV欄に記収 下記の番類が添付されている。	まする言語による	## E/30 05	国際子佣 記力 受 領				
1. 国際出願の翻訳文	: ·	枚	آ ً	* Q W			
特許協力条約第34条の規定に基づく補正書 特許協力条約第19条の規定に基づく補正書		2 X #					
(又は、要求された場合は翻訳文)の写し		枚					
5. 書簡		→ ₩	H	Ħ			
この国際予備審査請求書には、さらに下記の書類が添付されている。		枚					
日							
2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後	の目付			0			
		規則 54 の 2.1(a)の期限の程 ただし、以下の 7,8 の項目 規則 80.5 により延長が認め 内の国際予備審査請求書の 規則 54 の 2.1(a)の期間の であるが規則 82 により認む	にあてはまらない。 かられている規則 54 の 受理。	・2.1(a)の期限			
際予備審査請求書の国際予備審査機関からの受領の日:				İ			

様式PCT/[PEA/401 (最終用紙) (2004年1月版)